



司令官 デジャンカ大佐

がなされた。最初に米軍の基地司令官となつたのはウィリアム大佐で、その後つぎつぎと交替して現在はデジャンカ大佐が就任している。

この間昭和20年12月から翌年4月までに飛行場の大改修が行なわれ、11,500フィートの主滑走路をはじめ各種の施設が完備し、日本における最大の基地となつた。

昭和25年に始つた朝鮮動乱の際には第98爆撃連隊がこゝを基地として朝鮮戦線に飛立ちまた昭和32年7月第67技術偵察飛行連隊が伊丹から移駐し、年内にはB57爆撃中隊もこゝに移る予定である。

また、第56気象観測中隊も駐とんし颱風情報など貴重な資料を提供して日本の気象観測に重要な役割を果たしている。

こゝに働く日本人は約6,000人で、近隣市町村と基地との間には日米親善委員会を主軸として交友関係が深められ、治安、行政等協力して実績をあげている。

横田米空軍基地は日本における最大の飛行場を有し、米軍の最も重要な基地である。

この基地は昭和15年に陸軍の飛行場ができるまでは、武蔵野特有の広汎な雑木林であつた。

飛行場が開設されると同時に旧陸軍航空審査部が置かれ、陸空軍新鋭機の各種の研究や実験が行なわれ、太平洋戦争における航空部門の重要な役割を果たしてきた。終戦当時は帝都防衛の第一線基地として多くの戦闘機も配置され、米軍が進駐したときには280機が残存していた。

また、昭和19年4月10日には天皇陛下もこゝをご視察され、記念碑が今もなほ基地内に残されている。

始めて米軍が進駐したのは昭和20年9月6日で、当時の日本側司令官山口少将と米軍司令官フィーズ少佐との間に引継

第一ゲート



凡例 ◎ 長 ○ 副

55

<p>彦明治伍エ彰 雄正一夫一男雄雄三造</p> <p>暗孝幸田ジ 匡昌末伍義秀芳信時</p> <p>田川井里藤崎 村田村野栗津田橋川井</p> <p>池石三今江早 消防団 ◎田森田中設乙森高石笠 ○田森田中設乙森高石笠</p>	<p>藏吉一郎郎次 郎子一宗ヤ照一一 照礼</p> <p>忠捨作三五代 十代政牧力寿誠正 寿正</p> <p>辺石谷月兵喜 富美 司村沢中本島田山村 校医、齒科校医 横山</p> <p>川上細望橋貫 成人保護司 田鮎田榎野横秋水 校医、齒科校医 横山</p>	<p>子め 藏市薰明三藏吉郎郎光男夫平造郎一</p> <p>貞子 清彦幸虎金二太秀久喜幾太誠</p> <p>谷島 古橋泉井下西窪田谷場田野茂川村</p> <p>水竹 英瀬高米渡山中川島細館的山村原石田</p>	<p>助ク藏平一男 治雄郎一吉七市男子夫口助</p> <p>之キ角喜政徳 富武三銀仙新休守信鉄ヒ之</p> <p>亀 村田橋野村谷 谷川田田上島野野尾杉野村</p> <p>野町高村田古 民生委員 ◎古石森森井原安村村森中野 ○古石森森井原安村村森中野</p>
--	---	--	---

あとがき

町制施行20周年記念をむかえるにあたり福生町の概況をお知らせするため本冊子をつくりました。

匆々のうちに編集いたしましたので不備な点や誤りなども多いこと、存じますが、今回は特に御寛恕を願い、今後の完璧を期したいと存じます。

なほ、本冊子編集にあたり資料を提供下され御援助願いました方々に深く感謝いたします。

昭和35年10月1日

福生町勢要覧

昭和35年版

東京都西多摩郡福生町

発行所 福生町役場

印刷所 昭和印刷株式会社